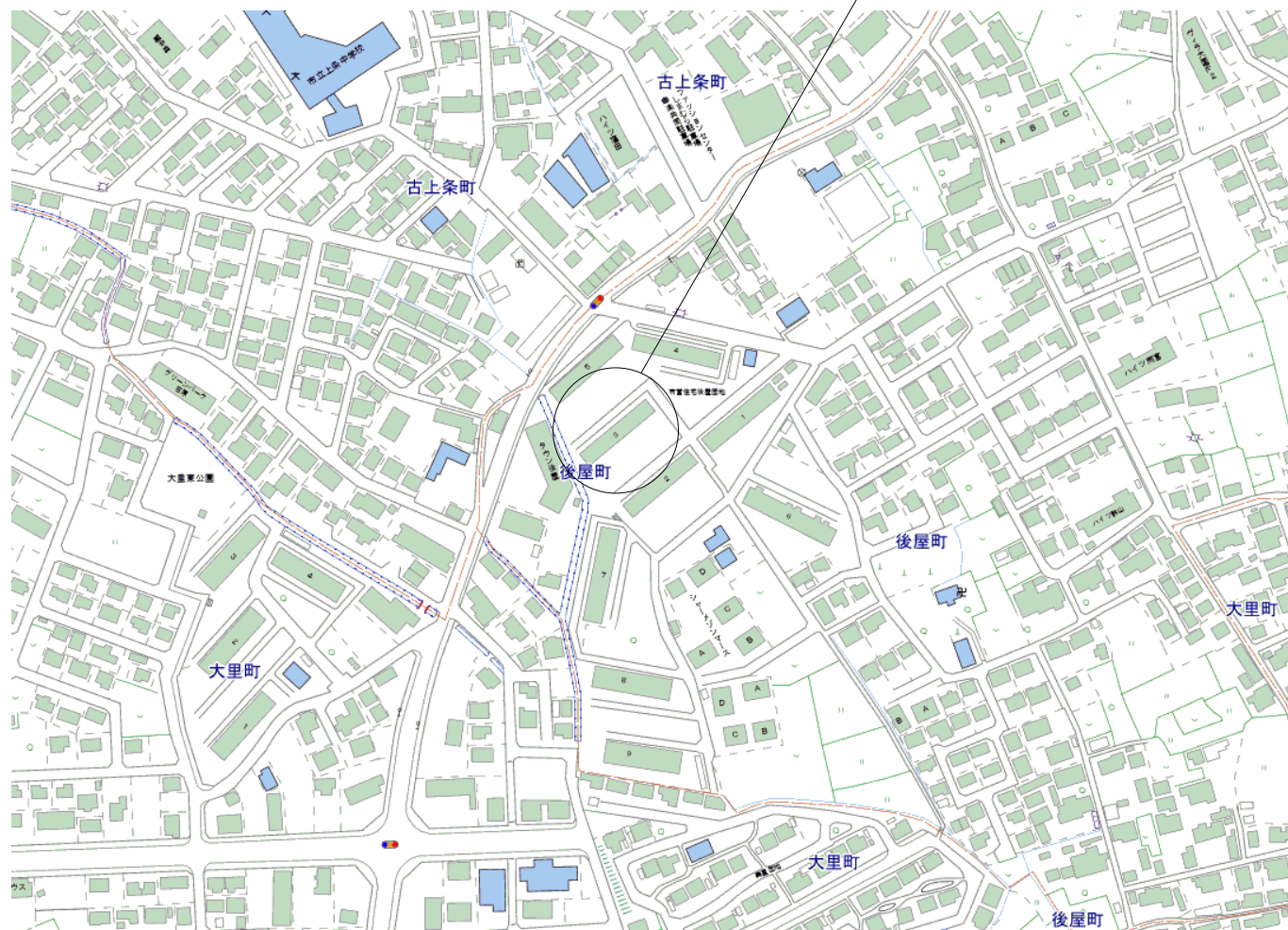




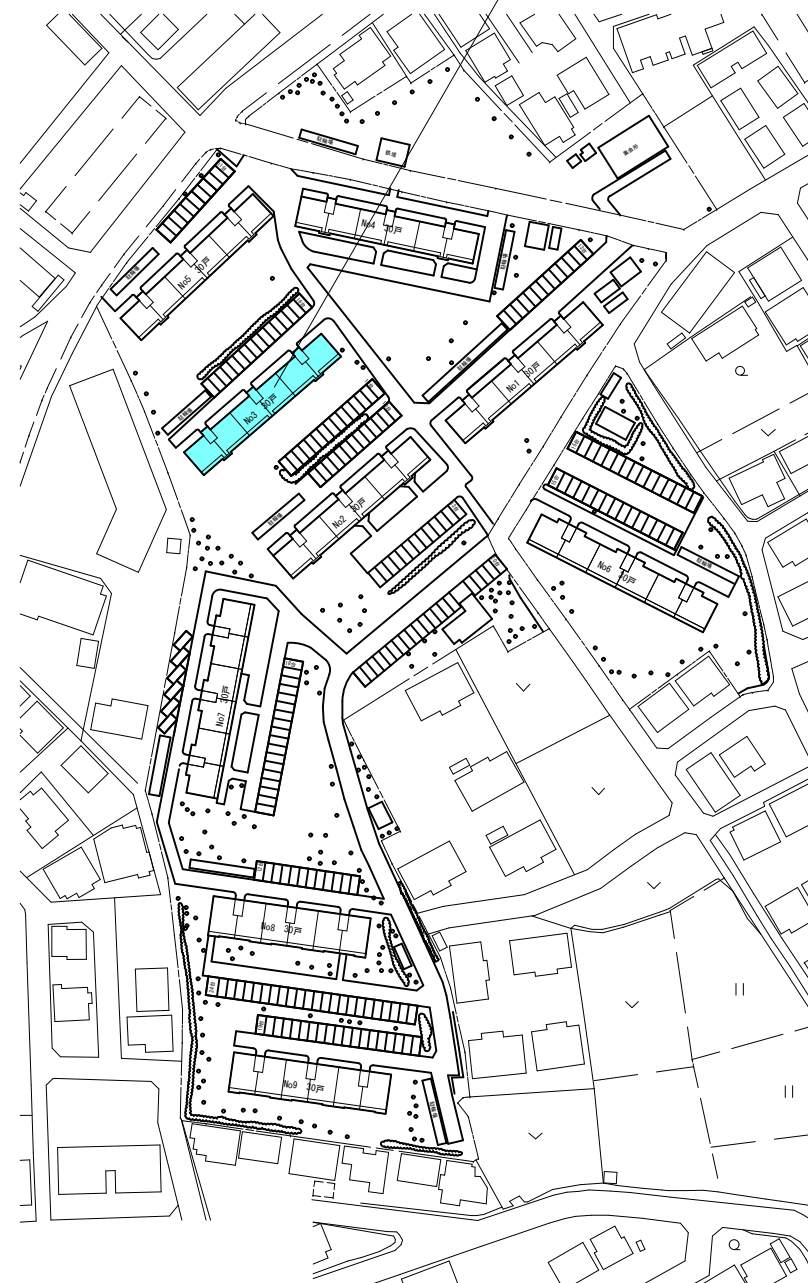
施工場所：後屋団地 3 号館  
甲府市後屋町 6 5 3 番地



案 内 図 S=1:free



施工場所：後屋団地 3 号館



※防水工事については、元請業者・施工業者  
材料製造業者連名の10年間保証とすること。

配 置 図 S=1:free

まちづくり部 まちづくり総室 住宅課

設 計

縮 尺

1/free

設計年月日

R7.6.

工事名称 後屋団地 3 号館外壁改修工事

図面名称 案内図・配置図

1  
No.

特 記 仕 様 書

□「甲府市暴力団排除条例の施行に伴う公共工事からの暴力団排除」を目的として、受注者は、下請負者を用いる場合には、金額・工種の如何にかかわらず、末端の下請負業者まで反映させた、「下請施工体系図」を作成し、遺漏・誤謬が無いよう記載内容を十分確認の上、遅滞なく監督員へ提出するものとする。また、提出した「下請施工体系図」の内容に変更が生じた場合は、その都度変更するものとし、遅滞なく監督員へ提出するものとする。なお、提出は打合せ簿によるものとする。

□工事写真の取扱い

- ・電子媒体により納品すること。
- ・納品時には、正副 1 部ずつを納品すること。
- ・使用する媒体は、ＣＤ－Ｒとする。ただし、やむを得ない理由がある場合に限り、ＤＶＤ－Ｒの使用も可とする。
- ・電子媒体に対して必ずウイルスチェックを行うこと。（ウイルス対策ソフトは特に指定しないが、最新のウイルスも検出できるように最新のデータに更新したものを利用すること。）
- ・電子媒体には以下の情報を明記すること。

A, 工事名称	B, 工事場所	C, 契約番号	D, 発注者担当部署名称
E, 請負者名称	F, 作成年月	G, 何枚目／総枚数	H, ウイルスチェックに関する情報
I, C D－Ｒフォーマット形式	J, 電子媒体の内容の原本性を証明するために、直接署名又は捺印を行う。		
- ・電子納品される写真データは、ＰＤＦ形式、エクセル等で編集したもので、従来の印刷物写真と同様な確認ができるものとする。
- ・写真データは、工種種別、撮影項目毎に分類し、工事の進捗に合わせて編集し、容易に確認できるファイル名・フォルダ名を付して整理すること。
- ・工事写真の検査は、電子データで検査することを原則とするが、印刷物または電子データと併用で検査することも可能とし、その範囲は受発注者との協議による。
- ・検査に使用する機器の準備と操作は、受注者が行うことを原則とする。
- ・やむを得ない理由により、電子納品できない場合は、受発注者との協議により、従来の印刷物による納品も可とする。
- ・ここに定めなきことは、受発注者との協議により決定する。

□再生資源利用計画（実施）書及び再生資源利用促進計画（実施）書の提出（請負金額100万円以上の工事）

請負者は国土交通省のホームページから「建設リサイクル報告様式（計画書・実施書）（EXCEL 様式）」の最新バージョンをダウンロードし、作成出力した再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を出力し、1部（紙）を施工計画書に添付し監督員に提出するものとする。（以前より使用していたクレダスを使用した様式での提出はH30センサスに対応していないため不可）  
工事完了後は速やかに、当初入力した工事データを実績値に修正した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を出力し、1部（紙）を完成書類に添付し、また、電子データを電子媒体（CD、DVD等）により監督員に提出するものとする。  
なお、入力した電子データは自社で1年間保管するものとする。  
※入力時の最新版を国土交通省のホームページからダウンロードして入手すること。  
(URL http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page\_03060101credas1top.htm)

□工事カルテに関する特記仕様（請負金額500万円以上の工事）

受注者は、工事実績情報サービス（C O R I N S）入力システム（(財)日本建設情報総合センター）に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として「登録のための確認お願い」を作成し監督員の確認（機関印または監督員の記名・押印及び電子メールアドレスを記入）を受けたうえ、(財)日本建設情報総合センターに登録申請するとともに、「登録内容確認書」の写しを監督員に提出しなければならない。提出の期限は、以下のとおりとする。

①受注時登録データの提出期限は、契約締結後10日以内（土・日曜日及び祝日等を除く）とする。

②完成時登録データの提出期限は、業務完成後10日以内とする。

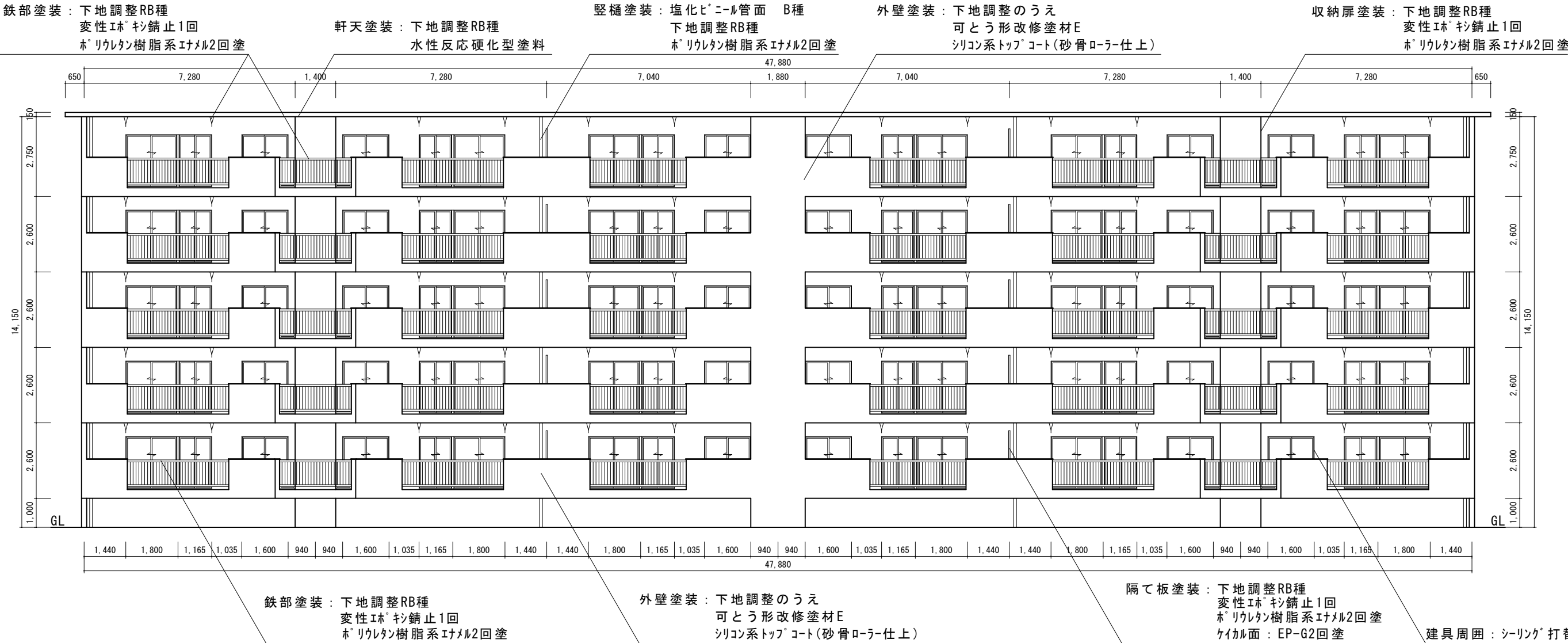
③業務履行中に、受注時登録データの内容のうち、「工期」または「現場代理人」または「監理・主任技術者」に変更があった場合は、変更があった日から10日以内（土・日曜日及び祝日等を除く）に変更データを登録申請しなければならない。工事請負代金のみ変更の場合は、原則として登録を必要としない。ただし、工事請負代金2,500万円を超えて変更する場合には変更時登録を行うものとする。

④訂正時は、適宜登録機関に登録申請をしなければならない。

□週休2日制適用工事

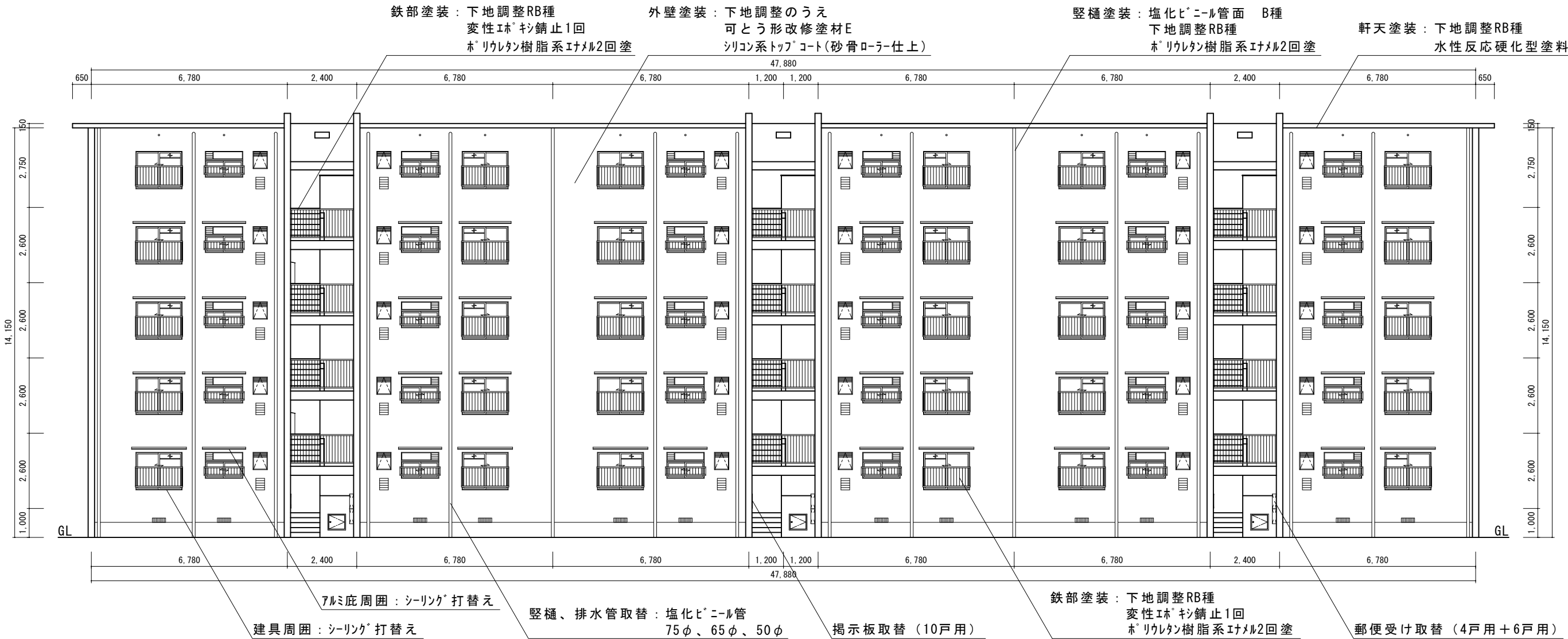
- ① この工事は甲府市が指定する「週休2日制適用工事」である。
- ② 週休2日の考え方は以下のとおりである。
  - 1) 「月単位の週休2日」とは、対象期間において、全ての月で4週8休以上の現場閉所を行ったと認められる状態をいう。
  - 2) 「通期の週休2日」とは、対象期間において、4週8休以上の現場閉所を行ったと認められる状態をいう。
  - 3) 「対象期間」とは、工事着手日（現場に継続的に常駐した最初の日）から工事完成日までの期間をいう。なお、年末年始6日間、夏季休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外とした内容に該当する期間、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間は含まない。
  - 4) 「現場閉所」とは、巡回パトロールや保守点検等を除き、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場が閉所された状態をいう。
  - 5) 「月単位の4週8休以上」とは、対象期間内の全ての月ごとに現場閉所日数の割合（以下「現場閉所率」という。）が28.5%（8日/28日）以上の水準に達する状態をいう。ただし、暦上の土曜日・日曜日の日数の割合が28.5%に満たない月においては、当該月の土曜日・日曜日の合計日数以上の現場閉所を行っている状態をいう。なお、現場閉所率の算定においては、降雨、降雪等による予定外の現場閉所日や猛暑による作業不能日についても、現場閉所日数に含めるものとする。
  - 6) 「通期の4週8休以上」とは、対象期間内の現場閉所日数の割合が28.5%（8日/28日）以上の水準に達する状態をいう。なお、現場閉所率の算定においては、降雨、降雪等による予定外の現場閉所日や猛暑による作業不能日についても、現場閉所日数に含めるものとする。
- ③ 受注者は、現場施工に着手した日から現場が完了する日までの間、原則土曜日及び日曜日の2日間、一斉に工事現場を閉所すると共に、以下のことを実施しなければならない。
  - 1) 受注者は原則土曜日及び日曜日の2日間工事現場を閉所とする。但し、受注者の意向により、現場閉所日は土曜日及び日曜日以外の日に定めることもできる。
  - 2) 受注者は、週休2日制現場閉所（計画・実績）書に現場閉所日を示し発注者に提出する。
  - 3) 作業状況や天候等で休日を変更する場合は、振替休日等を設定し、あらかじめ監督員に連絡する。
  - 4) 受注者は、現場閉所後速やかに「週休2日制適用工事」の取組実績について、週休2日制現場閉所実績集計表を発注者に提出し、確認を受けるものとする。
  - 5) 受注者は完成検査時に発注者から週休2日制現場閉所（計画・実績）書、週休2日制現場閉所実績集計表の提示を求められた場合は、提示しなければならない。
  - 6) 受注者は現場で就労する技術者及び作業員の労働環境に配慮しなければならない。
  - 7) 週休2日制適用工事と記した掲示をし、周辺住民へ周知をする。（A3 版程度、様式任意）
- ④ 災害、その他事情により完全週休2日が継続できないときは、監督員と協議により取り止めることができる。
- ⑤ 月単位の4週8休以上（28.5%（8日/28日）以上）を前提に補正係数1.04により労務費（予定価格のもととなる工事費の積算に用いる複合単価、市場単価及び物価資料の掲載価格（材工単価）の労務費）を補正して予定価格を作成しており、発注者は、現場閉所の達成状況を確認し、月単位の4週8休に満たない場合は、補正係数を1.02に変更し、通期の4週8休に満たない場合は補正係数を除し、請負代金額のうち労務費補正分を減額変更する。

	まちづくり部    まちづくり総室    住宅課	設 計			縮 尺	工事名称    後屋団地 3号館外壁改修工事	図面名称    特 記 仕 様 書	2 No.
					1/free			
					設計年月日 R7.6.			



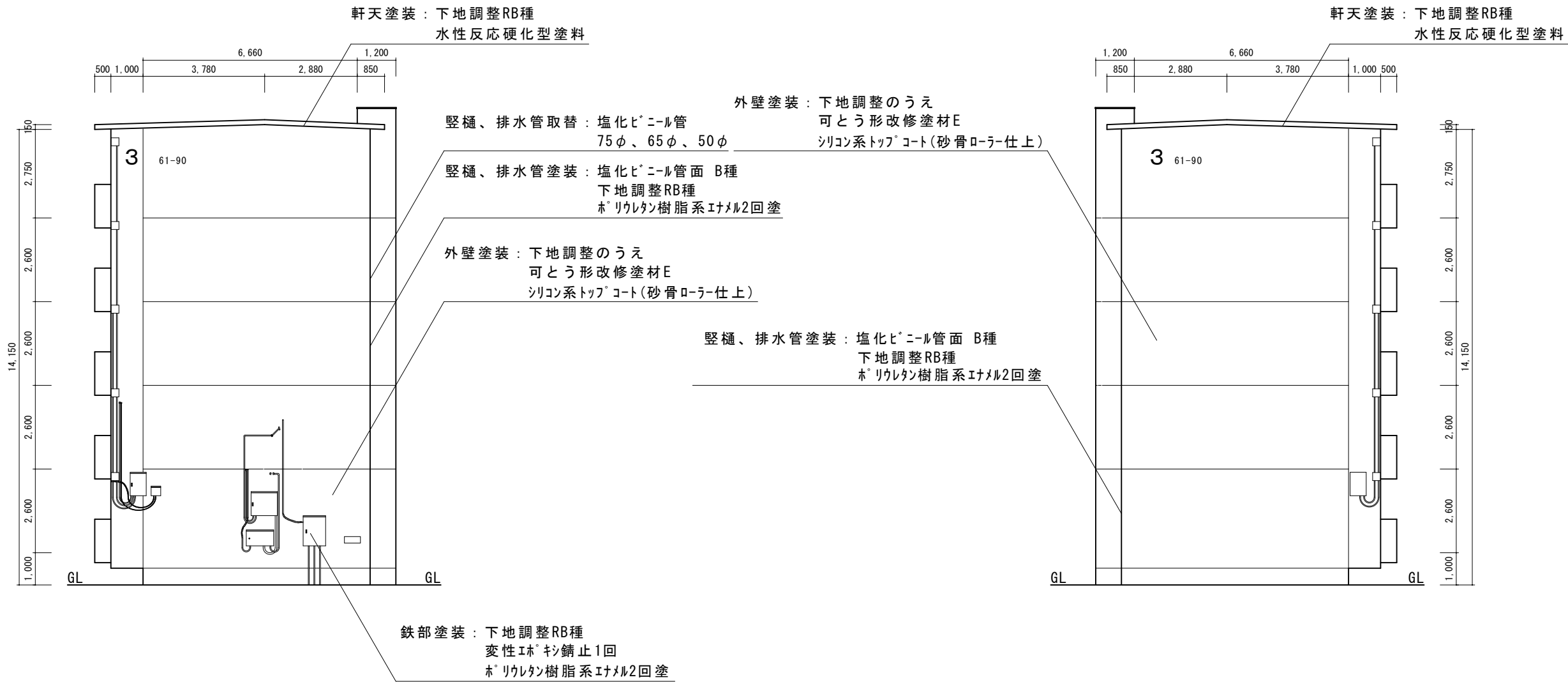
外壁改修仕様	塗装改修仕様	防水改修仕様
・外壁調査 足場施工後外壁・軒天・階段室全面について、浮き部・ひび割れ部・欠損部の調査を行い施工図及び数量計算表を作成すること	・階段室天井、壁塗装 工程B種 下地調整RB種（塗替え面） 水性反応硬化形塗料	・既存シーリング撤去 建具周囲
・既存郵便受け 仮移設後撤去処分、新規取付 4戸用+6戸用（杉田エス同等品以上：244-242(243)）	・階段室腰壁塗装 工程B種 下地調整RB種（塗替え面） EP-G2回塗	・既存シーリング撤去 7mm底周囲
・掲示板 仮移設後撤去処分、新規取付 10戸用 720×410（杉田エス同等品以上：211-326）	・縦樋、排水管塗装 塩化ビニール管面 B種 下地調整RB種 ポリウレタン樹脂系エナメル2回塗	・ベランダ床清掃及び水洗い 立上り、手摺り下笠木共
・既存塗膜劣化部補修 下地調整 C-1 ケン 清掃 目荒し共	・玄関扉、手摺塗装 鉄鋼面 B種 変性エポキシ錆止め1回 下地調整RB種 ポリウレタン樹脂系エナメル2回塗	・ベランダ床下地補修 下地調整剤塗布 立上り、手摺り下笠木共
・既存塗膜劣化部補修 下地調整 C-1 ケン 清掃 目荒し共	・PS扉、点検口塗装 鉄鋼面 B種 変性エポキシ錆止め1回 下地調整RB種 ポリウレタン樹脂系エナメル2回塗	・ベランダ床防水 超速硬化ウレタン塗膜防水 t=3.0 ノスリッパ仕上げ 立上り、手摺り下笠木共
・浮き部補修 一般部 9本/㎡ 注入口付アンカベネンシング部分ポキシ樹脂注入工法	・換気グリッド塗装 鉄鋼面 B種 変性エポキシ錆止め1回 下地調整RB種 ポリウレタン樹脂系エナメル2回塗	・手摺りモルタル笠木 ウレタン塗膜防水 糸幅200程度 X-2（密着工法がラスクス入り）
・浮き部補修 狭幅部 5本/m 注入口付アンカベネンシング部分ポキシ樹脂注入工法	・物干し金物塗装 鉄鋼面 B種 変性エポキシ錆止め1回 下地調整RB種 ポリウレタン樹脂系エナメル2回塗	非歩行用カーケルンゴム仕上
・ひび割れ部補修 0.2mm未満 シール工法 可とう性エポキシ樹脂充填	・外壁棟番号塗装 両面各1ヶ所	・シーリング打ち 建具周囲
・ひび割れ部補修 0.2mm以上 ウットシール材充填工法 可とう性エポキシ樹脂充填	・玄関扉部屋番号 カッティングシート貼	・シーリング打ち 7mm底周囲
・欠損部補修 鉄筋爆裂部補修（100×100） 鉄筋部研り出し 錆撤去 防錆材塗布 樹脂モルタル充填	・消火器BOX塗装 鉄鋼面 B種 変性エポキシ錆止め1回 下地調整RB種 ポリウレタン樹脂系エナメル2回塗	
・欠損部補修 鉄筋爆裂部補修（200×200） 鉄筋部研り出し 錆撤去 防錆材塗布 樹脂モルタル充填	・盤、配管塗装 鉄鋼面 B種 変性エポキシ錆止め1回 下地調整RB種 ポリウレタン樹脂系エナメル2回塗	
・欠損部補修 鉄筋爆裂部補修（300×300） 鉄筋部研り出し 錆撤去 防錆材塗布 樹脂モルタル充填	・クランプ塗装 鉄鋼面 B種 変性エポキシ錆止め1回 下地調整RB種 ポリウレタン樹脂系エナメル2回塗	
・欠損部補修 100×100程度 下地補修 樹脂モルタル充填	・ポアードレン塗装 鉄鋼面 B種 下地調整RB種 変性エポキシ樹脂2回塗	
・外壁塗装 下地調整のうえ、可とう形改修塗材E シリコン系トップコート 砂骨ローラー仕様	・隔て板塗装 大800×1,800 鉄鋼面 B種 下地調整RB種 ポリウレタン樹脂系エナメル2回塗 ケイカル面：EP-G2回塗	
・軒天塗装 工程B種 下地調整RB種（塗替え面） 水性反応硬化型塗料	・隔て板塗装 小450×900 鉄鋼面 B種 下地調整RB種 ポリウレタン樹脂系エナメル2回塗 ケイカル面：EP-G2回塗	
・縦樋、排水管取替（北面） 塩化ビニール管 φ75、φ65、φ50	・収納扉塗装 木部面 B種 下地調整RB種 ポリウレタン樹脂系エナメル2回塗	
	・避難誘導ステッカー貼 隔て板面 150×400 材工共	

南立面図 S=1:150



外壁改修仕様	塗装改修仕様	防水改修仕様
・外壁調査 足場施工後外壁・軒天・階段室全面について、浮き部・ひび割れ部・欠損部の調査を行い施工図及び数量計算表を作成すること	・階段室天井、壁塗装 工程B種 下地調整RB種（塗替え面） 水性反応硬化形塗料	・既存シーリング 撤去 建具周囲
・既存郵便受け 仮移設後撤去処分、新規取付 4戸用+6戸用（杉田エス同等品以上：244-242(243)）	・階段室腰壁塗装 工程B種 下地調整RB種（塗替え面） EP-G2回塗	・既存シーリング 撤去 アルミ底周囲
・掲示板 仮移設後撤去処分、新規取付 10戸用 720×410（杉田エス同等品以上：211-326）	・縦樋、排水管塗装 塩化ビニール管面 B種 下地調整RB種 ｵﾘｸﾚﾀﾝ樹脂系エナﾒﾙ2回塗	・ベランダ 床清掃及び水洗い 立上り、手摺り下笠木共
・既存塗膜劣化部補修 下地調整 C-1 ケン 清掃 目荒し共	・玄関扉、手摺塗装 鉄鋼面 B種 変性エポキシ錆止め1回 下地調整RB種 ｵﾘｸﾚﾀﾝ樹脂系エナﾒﾙ2回塗	・ベランダ 床下地補修 下地調整剤塗布 立上り、手摺り下笠木共
・既存塗膜劣化部補修 下地調整 C-1 ケン 清掃 目荒し共	・PS扉、点検口塗装 鉄鋼面 B種 変性エポキシ錆止め1回 下地調整RB種 ｵﾘｸﾚﾀﾝ樹脂系エナﾒﾙ2回塗	・ベランダ 床防水 超速硬化ウレタン塗膜防水 t=3.0 ノスリッ 仕上げ 立上り、手摺り下笠木共
・浮き部補修 一般部 9本/㎡ 注入口付アンカベジキング 部分エポキシ樹脂注入工法	・換気グリル塗装 鉄鋼面 B種 変性エポキシ錆止め1回 下地調整RB種 ｵﾘｸﾚﾀﾝ樹脂系エナﾒﾙ2回塗	・手摺りモルタル笠木 ウレタン塗膜防水 糸幅200程度 X-2（密着工法がラスクス入り）
・浮き部補修 狭幅部 5本/m 注入口付アンカベジキング 部分エポキシ樹脂注入工法	・物干し金物塗装 鉄鋼面 B種 変性エポキシ錆止め1回 下地調整RB種 ｵﾘｸﾚﾀﾝ樹脂系エナﾒﾙ2回塗	非歩行用カーウレタンゴム仕上
・ひび割れ部補修 0.2mm未満 シール工法 可とう性エポキシ樹脂充填	・外壁棟番号塗装 両面各1ヶ所	・シーリング 打ち 建具周囲
・ひび割れ部補修 0.2mm以上 ウッドニール材充填工法 可とう性エポキシ樹脂充填	・玄関扉部屋番号 カッティングシート貼	・シーリング 打ち アルミ底周囲
・欠損部補修 鉄筋爆裂部補修（100×100） 鉄筋部研り出し 錆撤去 防錆材塗布 樹脂モルタル充填	・消火器BOX塗装 鉄鋼面 B種 変性エポキシ錆止め1回 下地調整RB種 ｵﾘｸﾚﾀﾝ樹脂系エナﾒﾙ2回塗	
・欠損部補修 鉄筋爆裂部補修（200×200） 鉄筋部研り出し 錆撤去 防錆材塗布 樹脂モルタル充填	・盤、配管塗装 鉄鋼面 B種 変性エポキシ錆止め1回 下地調整RB種 ｵﾘｸﾚﾀﾝ樹脂系エナﾒﾙ2回塗	
・欠損部補修 鉄筋爆裂部補修（300×300） 鉄筋部研り出し 錆撤去 防錆材塗布 樹脂モルタル充填	・クランプ塗装 鉄鋼面 B種 変性エポキシ錆止め1回 下地調整RB種 ｵﾘｸﾚﾀﾝ樹脂系エナﾒﾙ2回塗	
・欠損部補修 100×100程度 下地補修 樹脂モルタル充填	・ポアードレン塗装 鉄鋼面 B種 下地調整RB種 変性エポキシ樹脂2回塗	
・外壁塗装 下地調整のうえ、可とう形改修塗材E シリコン系トップコート 砂骨ローラー仕様	・隔て板塗装 大800×1,800 鉄鋼面 B種 下地調整RB種 ｵﾘｸﾚﾀﾝ樹脂系エナﾒﾙ2回塗 ケイカル面：EP-G2回塗	
・軒天塗装 工程B種 下地調整RB種（塗替え面） 水性反応硬化形塗料	・隔て板塗装 小450×900 鉄鋼面 B種 下地調整RB種 ｵﾘｸﾚﾀﾝ樹脂系エナﾒﾙ2回塗 ケイカル面：EP-G2回塗	
・縦樋、排水管取替（北面） 塩化ビニール管 φ75、φ65、φ50	・収納扉塗装 木部面 B種 下地調整RB種 ｵﾘｸﾚﾀﾝ樹脂系エナﾒﾙ2回塗	
	・避難誘導ステッカー貼 隔て板面 150×400 材工共	

北 立 面 図 S=1:150



外壁改修仕様	塗装改修仕様	防水改修仕様
・外壁調査 足場施工後外壁・軒天・階段室全面について、浮き部・ひび割れ部・欠損部の調査を行い施工図及び数量計算表を作成すること	・階段室天井、壁塗装 工程B種 下地調整RB種（塗替え面） 水性反応硬化形塗料	・既存シーリング撤去 建具周囲
・既存郵便受け 仮移設後撤去処分、新規取付 4戸用＋6戸用（杉田エス同等品以上：244-242(243)）	・階段室腰壁塗装 工程B種 下地調整RB種（塗替え面） EP-G2回塗	・既存シーリング撤去 7mm底周囲
・掲示板 仮移設後撤去処分、新規取付 10戸用 720×410（杉田エス同等品以上：211-326）	・縦樋、排水管塗装 塩化ビニール管面 B種 下地調整RB種 ポリウレタン樹脂系イマル2回塗	・ベランダ床清掃及び水洗い 立上り、手摺り下笠木共
・既存塗膜劣化部補修 下地調整 C-1 ケン 清掃 目荒し共	・玄関扉、手摺塗装 鉄鋼面 B種 変性エポキシ錆止め1回 下地調整RB種 ポリウレタン樹脂系イマル2回塗	・ベランダ床下地補修 下地調整剤塗布 立上り、手摺り下笠木共
・既存塗膜劣化部補修 下地調整 C-1 ケン 清掃 目荒し共	・PS扉、点検口塗装 鉄鋼面 B種 変性エポキシ錆止め1回 下地調整RB種 ポリウレタン樹脂系イマル2回塗	・ベランダ床防水 超速硬化ウレタン塗膜防水 t=3.0 ノスリッパ仕上げ 立上り、手摺り下笠木共
・浮き部補修 一般部 9本/m <sup>2</sup> 注入口付アンカベネンク部分ポキシ樹脂注入工法	・換気グリッド塗装 鉄鋼面 B種 変性エポキシ錆止め1回 下地調整RB種 ポリウレタン樹脂系イマル2回塗	・手摺りモルタル笠木 ウレタン塗膜防水 糸幅200程度 X-2（密着工法がラスト入り）
・浮き部補修 狭幅部 5本/m 注入口付アンカベネンク部分ポキシ樹脂注入工法	・物干し金物塗装 鉄鋼面 B種 変性エポキシ錆止め1回 下地調整RB種 ポリウレタン樹脂系イマル2回塗	非歩行用カーケルンゴム仕上
・ひび割れ部補修 0.2mm未満 シール工法 可とう性エポキシ樹脂充填	・外壁棟番号塗装 両面各1ヶ所	・シーリング打ち 建具周囲
・ひび割れ部補修 0.2mm以上 ウットシール材充填工法 可とう性エポキシ樹脂充填	・玄関扉部屋番号 カッティングシート貼	・シーリング打ち 7mm底周囲
・欠損部補修 鉄筋爆裂部補修（100×100） 鉄筋部研り出し 錆撤去 防錆材塗布 樹脂モルタル充填	・消火器BOX塗装 鉄鋼面 B種 変性エポキシ錆止め1回 下地調整RB種 ポリウレタン樹脂系イマル2回塗	
・欠損部補修 鉄筋爆裂部補修（200×200） 鉄筋部研り出し 錆撤去 防錆材塗布 樹脂モルタル充填	・盤、配管塗装 鉄鋼面 B種 変性エポキシ錆止め1回 下地調整RB種 ポリウレタン樹脂系イマル2回塗	
・欠損部補修 鉄筋爆裂部補修（300×300） 鉄筋部研り出し 錆撤去 防錆材塗布 樹脂モルタル充填	・クランプ塗装 鉄鋼面 B種 変性エポキシ錆止め1回 下地調整RB種 ポリウレタン樹脂系イマル2回塗	
・欠損部補修 100×100程度 下地補修 樹脂モルタル充填	・ドアドレイン塗装 鉄鋼面 B種 下地調整RB種 変性エポキシ樹脂2回塗	
・外壁塗装 下地調整のうえ、可とう形改修塗材E シリコン系トップコート 砂骨ローラー仕様	・隔て板塗装 大800×1,800 鉄鋼面 B種 下地調整RB種 ポリウレタン樹脂系イマル2回塗 ケイカル面：EP-G2回塗	
・軒天塗装 工程B種 下地調整RB種（塗替え面） 水性反応硬化形塗料	・隔て板塗装 小450×900 鉄鋼面 B種 下地調整RB種 ポリウレタン樹脂系イマル2回塗 ケイカル面：EP-G2回塗	
・縦樋、排水管取替（北面） 塩化ビニール管 φ75、φ65、φ50	・収納扉塗装 木部面 B種 下地調整RB種 ポリウレタン樹脂系イマル2回塗	
	・避難誘導ステッカー貼 隔て板面 150×400 材工共	

東立面図 S=1:150

西立面図 S=1:150